



玄関に『幼児期の終わりまでに育ってほしい『10の姿』が掲示してあります。子どもたちの健やかな成長を支えるための大切な指針です。遊びや生活の中で経験を重ねながら、これらの多方面にわたる力を育むことで、子どもたちが社会の中で自分らしく逞しく生きるための力を身に付けていけるようにしていきたいと思えます。今年度も、成長する子どもたちの姿をお伝えしていきます。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

- ①『健康な心と体』 → 見通しをもって自立的に行動するようになる。(時間/準備)
- ②『自立心』 → 上手くいかない事や難しい事も、自分なりに工夫したり、周りの助けを求めたりしながら、やり遂げようとする。
- ③『協同性』 → 目的実現に向け、みんなで協力したり工夫したりする。
- ④『道徳性・規範意識の芽生え』 → 自分の気持ちを調整して、友達と折り合いを付けるなど周囲との関わりを深め、決まりを守って行動する。
- ⑤『社旗生活との関わり』 → 様々な人に親しみをもって接し、人に役立つ喜びを感じる。
- ⑥『思考力の芽生え』 → 興味をもったものを自分なりに比べたり、関連付けたりして探る。
- ⑦『自然との関わり・生命尊重』 → 季節の変化や自然の美しさを感じ、身近な事象への関心が高まる。
- ⑧『数量や図形などへの興味関心』 → 数や量・長さを意識する経験を重ねることで、便利さに気付き生活の中で使うようになる。
- ⑨『言葉による伝えあい』 → 聞いたり話したり気づきを共有する中で、言葉を通じて心を通わせる。
- ⑩『豊かな感性と表現』 → 思いのままに表現し友達と創造的な活動を生み出していく。

【こいのぼり制作】(4,5歳児)

- ◎ 先生の話聞いて作業進められるかな?
 - ◎ 線ごに沿ってハサミで切れるかな?
 - ◎ 見本をみて同じように作れるかな?
- 先生の話を聞いて考えたり、教えてもらったりしながら、自分のこいのぼりを作りました。



【タケノコいっぱい発見!】～散歩～晴明神社

竹林でタケノコを見つくと、⑧「なん本あるの!?!」「こっちの方が大きい!」「背くらべてみよう」と、自分の背と比べながら、大きさの違いを楽しんだり、数を数えたりしていました。自然に触れる中で、長さや高さへの関心が広がる姿が見られました。



【今年もやるぞ!米作り!】～田んぼづくり～

みんなで田んぼづくりをしました。⑨力を合わせて穴を掘り、バケツで土を運びながら、自分たちの手でつくり上げることを楽しみました。昨年の経験を思い出し、青組の子は「あと何杯運んだらいい感じかな～」「もうちょっといるなあ」と話し合いながら、⑩見通しをもって取り組む様子がみられました。赤組の友達も、「ミミズ発見!!」など、生き物にも触れ楽しみながら最後まで頑張りました!



【桜並木のトンネルをあるいたよ♪】

～春の風を肌で感じながら～百間桜

桜並木の下を散策しました。やわらかな春の風に花びらが舞い⑦「きれい!」「雪みたい!」とそれぞれに⑨感じたことを話しながら、友達と手をつないで楽しく歩きました。道端には鮮やかな緑色をした草花が生え、子どもたちの列に並行してチョウチョが舞い⑩「いっしょにお散歩しとる♪」と言葉が溢れていました。

